

[okazaki\_170]

活動タイトル	生涯学習講座～ゼロカーボンへの取組
実施日	2024年12月2日(月)
場所	中札内文化創造センター(中札内村)
対象数	46人
内容	<p>主催者より、「中札内村では、令和6年9月4日開会の令和6年第3回定例会において、2050年までに二酸化炭素排出ゼロを目指すゼロカーボンシティ宣言をしたことを受け、これからも環境行政の着実な推進を図りつつ、本村が目指す「<u>優しく穏やかな美しい村</u>」を<u>次世代の子どもたちに引き継いでいく</u>ため、また、地球環境に配慮した<u>持続可能なまちづくりのさらなる推進</u>に向けた決意を示すことから、<u>生涯学習社会の観点</u>と捉え、『地球温暖化防止のために 今「家庭」で できること』と題し、自分に合った手段で、自由に、楽しく、生涯にわたって学び続けることを目的とする。」という講座の目的をお示しいただいたので、できる限り、依頼に沿ったものとなるよう、また、身近なことと感じていただけるよう、中札内村の取り組みを盛り込みながら、講座を進めました。</p> <p>&lt;実施内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・知りたいことを尋ねる(ゼロカーボンについて、家庭でできること、身近にできること、節約はゼロカーボンに繋がるのか、電気自動車は主流になるのか?、子どもたちにわかりやすく伝えるには?、職場で取り入れられること、食品ロス削減は、ゼロカーボンか?、太陽光発電は、ゼロカーボンか?家電の買替はゼロカーボンか?省エネだと思ってやっているけれど、実は間違っていることはあるか?)</li><li>・中札内村のゼロカーボンシティ宣言とゼロカーボンの説明</li><li>・2007年から2023年までの異常気象を示した世界地図のスライドショー投影</li><li>・おさらい、地球温暖化</li><li>・若者の声とその背景、1.5℃に抑えるためのCO<sub>2</sub>排出余地</li><li>・緩和策:省エネ・節電のポイント、豆知識、暖房の基礎知識</li><li>・ライフサイクルの視点から見た私たちが関わる温室効果ガス排出</li><li>・感想ややっていること、取り組めることを、近くの人と共有</li></ul> <p>&lt;配付資料&gt;</p> <p>PPTの抜粋(参考サイトのQRコード付き)、実践!おうちで省エネ2023年度版(北海道経済産業局作成)</p> <p>&lt;感想・課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・村の職員の方、一般の方とも、現役世代の方が多く見受けられたこと、夜の時間にもかかわらず、女性の参加も多かったのが印象的だった。</li><li>・知りたいことを尋ねたところ、「ゼロカーボンについて知りたい」という声が、「家庭の省エネ・身近な省エネ」とほぼ同数あったことも印象的だった。</li><li>・参加者からは、「買ってから、そのままなので、家に帰って、冷蔵庫の裏や横のホコリをチェックしたい」や「冷蔵庫を16年くらい使っているので、買い替えを検討して</li></ul>

- みたい」などの声が聞かれるなど、自分ごととしてとらえていただけたようだ。
- ・「省エネだと思ってやっているが間違っていること」の例は、最近のものはわからなかったが、過去の例として、「節水のためにトイレのタンクにレンガなどを入れること（故障に繋がる）」や「冷蔵庫カーテン（ドアポケット部分が冷えないので、メーカーは、使用しないように呼びかけている）」の例を紹介した。
  - ・主催者から、「近くの人と、講座を聴いて家に持ち帰る取り組みを話しあう時間を持ちたい」との希望をいただいていたのだが、その部分とその結果の扱いについて十分に練れていなかった点が反省点。また、生涯学習講座なので比較的高齢の参加者が多いのでは？と勝手に思い込んで、QRコードを使ったリアルタイムアンケートを、実施しなかったが、実際には、実施できそうな顔ぶれだった。今後は、思い込みを排し、主催者と密に連絡・相談をし、より効果的な構成となるように工夫していきたい。
  - ・腕時計を忘れたので、参加者同士の感想を聞きに、会場を回る際、時間管理ができなかった。今後は、持ち物の確認をきちんと行い、漏れがないようにしたい。

#### 実施写真等

